

災害対策、学校の屋上を避難所に



質問

地震のような大規模な災害が発生しても、行政機関が重要事業を継続できるように計



榎本雅夫 議員

画をたてておくことなど、被害を想定して対応を考える業務継続計画・BCP策定の認識と考えは。

総務部長

計画の必要性は十分承知している。いろんな業務がある中、整理をして、どの業務を優先するか、人、資材など整理した中で取り組んでいく必要があると考えている。

質問

災害時における市の情報システム、ICT部門の停止した場合の復旧体制は。

企画部長

業務システムは、各庁舎のネットワークでつながれている。ダウンした場合に備えて、本庁舎でバックアップを毎日とり、佐織庁舎の3階の電算室に保管している。

今後、統合庁舎ができれば電算室を上階にもっていくので、水害の心配はなくなるのではないかと考える。

質問

市役所が被害を受けた際にホームページの更新用サーバーも使用不能になる可能性がある。災害時に遠隔地の自治体にホームページを代理掲載してもらい、災害情報の発信を図ることについての見解は。

企画部長

有益な手段の一つであると考える。協定についてはよく

研究したい。

質問

この地域は高い建物が少ない。昨年、3階建て以上の民間施設に意向調査をしていくとのことだったが、学校は3階建てが多く、災害時には避難所にも指定されている。

東日本大震災のような想定外のことも考えなければならぬ。

学校の屋上にフェンスなど転落防止柵や外階段など設置して、緊急避難場所としてはどうか。

教育部長

洪水による浸水や大津波の災害などの緊急時、一時的に屋上に避難するということは可能である。しかし、学校教育の運営の中で、安全面や生徒指導において、柵などを設置してまで上がらせる状況ではない。平常時の生徒の安全を確保することができないので困難だと考える。

学校のトイレを洋式に改修を

質問

小・中学校のトイレの現状は。また、洋式へ改修を計画的に取り組んではどうか。

教育部

小学校で23・8%、中学校で28・6%が洋式化している。

和式から洋式へ改修するとすると、スペースの関係もある。現状、トイレの大規模な改修が迫っている。そのような中、可能な限り洋式トイレを増やしていくよう進めたらどうかと想っている。